

32・7・25水害と復旧

1 七・二五
水害による被害
昨年七月二十五日水害による、
本村全体の被害額合計は、復旧費
一〇万円以上の国庫補助費を要
した分のみで、約一億二千百
二十万五千円です。これは、小
長井村の一ヶ年の全予算(総等
専)一千八百万円
の約六・七倍に相
当します。 家

昨年7・25日の大水害によつて、本村も未曾有の被害を受けまし
て、目下懸命に復旧工事を急いでいます。村民の皆様さんとしては、
昨年7月水害で一体どれ位の被害を受けたか、そしてそれがどれ位
復旧しつつあるのか、関心のことと思います。以下それらのことば
つきて、あらまし御説明し、ご了解を得たいと思います。



写真説明
上・・・小深川の河川工事完成する
下・・・着々と水害復旧はすすんで行く

災害区分	復旧費	摘要
耕地災害	二六〇五、〇〇〇円	農 業
林地災害	五五、四四三、〇〇〇	
土木災害	五〇七、〇〇〇	
河川災害	四、八八一、〇〇〇	
港灣災害	三、三八一、〇〇〇	
計	一、〇〇〇、〇〇〇	箇別数
	二、二八一、〇〇〇	農
		二二
		三
		六
		二

本村が如何に大水害を受けたか、はた統災害を分類して表示すると、次
ば、見がつかうとせぬ。

2 復旧事業費

以上の災害を、昭和三十三年度
三十三年度、三十四年度の三分在
と通りに復旧する方針であります
が、ええに述べた通り、全村す
まの何倍かになるはず大な事業費を
一体どうして出すかといふことが
1. 国庫補助金

2 地元負担金

の二に依らざるを得ないのであります。今、農地復
旧を例にとりてみますと、今、農地復
旧の災害復旧工事箇所があつたとし
ますと、国からの補助金(率率五〇
%)は五〇万円、この五〇万円
を地元負担(受益者)の合せて
一〇〇万円として、工事を実施しま
す。ただし、この補助率は、災野の

災 害 別	国庫補助率	地元負担率	事業費	摘 要
農 地 復 旧	50 %	50 %	100 %	農道・溜池・頭首工・水路等
農業用施設復旧	65 %	35 %	100 %	
林 道 復 旧	60 %	40 %	100 %	
港 灣 復 旧	66.7%	33.3%	100 %	
村 道 復 旧	66.7%	33.3%	100 %	
河 川 復 旧	66.7%	33.3%	100 %	

種類によつていろいろ異なるのであ
る。平率の場合の補助率を参考までに
上げてみますと、次の通りになります。

災 害 別	国庫補助率	地元負担率	事業費	摘 要
農 地 復 旧	70 %	30 %	100 %	このよ うに、 大田に 補助率 は上つ たとい え、 なご の地元 負担金 は、災 害者に おとつ て大き な負担 を要し て、 重たで あるま す。と して 有林先
農業用施設復旧	85 %	15 %	100 %	
林 道 復 旧	60 %	40 %	100 %	
港 灣 復 旧	72.8%	7.2%	100 %	
村 道 復 旧	72.8%	7.2%	100 %	
河 川 復 旧	72.8%	7.2%	100 %	

これは平率の場合の補助率でありま
すが、今後のような大水害の場合、
特に高率に補助金が交付されます。
小長井村の場合、次の通りになり
ます。

3 工事の進展

国は査定を通過した災野
工事について、予算の補
助金を交付する。後はまた査定だ、
と、それにして、これたの補助
金を交付する。後はまた査定だ、
というように、予算の割当をいたし
ます。

4 国庫補助の適用と検査

参考として申し上げますが、災害は
どんな災野でも、国庫補助の適用を
受けるには限られています。

5 今後の見通し

三二・三三年度の災野工事費は、
全体の約五十七%であり、
当初の予算に比べれば、この四
三年度の三十四年度で実施しなければ
なりません。

1 事業係

(概算の都合上事業係) 見込は
六・七四下段(抱懸)



た。然しこの査定工事費も最終的な
工事費ではない、その後再び査定
を実施したため、会計復旧費再復
査等を実施したためです。よって、
工事費に変動が生ずる場合があります。
例えば、工事の途中を検査する中
間検査・竣工検査・会計検査です。
工事は一応竣工検査の合格を経て
完了しますが、事業の最終的な復査
は、会計復旧費によって行われま
す。そのうち、手抜きが
あつた、疎忽があつた、あるいは
又不正工事、補助金の不正使用が
あれば、補助金の返納を命ぜられた
り、処罰されたりの場合があります。
そこで、これを通過して、始めて
事業が完了したといえるのでありま
す。



昭和32.33年度、土木災害並に村単各工事施工一覽図



昭和32.33年度、耕地災害復旧工事一覽図



生活改善に協力して

埴里支部長 永井益板

「云々は易く行は難し」とは、金を附いて農務作成にのりかかっ
 よい。つたもので。部落民の口か
 は、改善の声はきけられぬから、
 仲々実現出来なかつた。
 我が川内部落は陸軍の水害で、村
 内の被害を受けた。この時
 とばかり、埴里駐在は新生活運動
 の力を出し、最初に埴里の声をきか
 された。今まで心のうちでは思
 いたつて、口に出さずの出来な田
 舎の御人同志は両手をあげて、貴成
 の声を出し、男子間に話しかけまし
 たところ、話はまだ、原々委員

秋の頃となり、勉強にあるいは
 スポーツに一面専らすること
 愛好のシーズンとなり、吾が乗切
 部においては、このシーズン有基
 隊に利用するために、出員全部一
 致協力し、青年学級に、
 農事経営に、いそいでい
 る。吾が支部に於て、他
 の支部においてもいろいろ
 な計画を立てられて、青年
 団活動に又は農業経営にと
 まい進められていることだろ
 う。

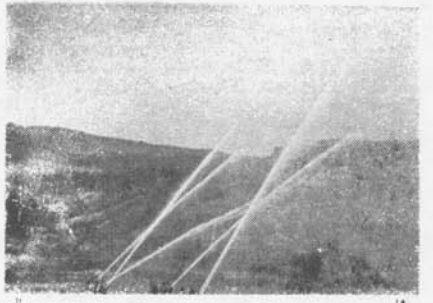
青年学級と公民館

今日の青年活動は大へん
 活発になつてきました。新
 農村建設のため、又社会福
 祉のために、吾人が主体
 となり、社会を先導させる
 ということが、主条件のも
 とに、組合青年学級、ある
 いは青年の講習会など、
 我々青年を指導して下さる
 ことは大へん望ましいこと
 である。
 吾が支部青年学級が、今日活発化
 された最も大きな要素は、公民館で
 あつた。五年前の青年は、親切親友
 会として、青年活動を進行してき



▲六面よりのことをいって居られるかも知れませんが、まだ、私たちは若いうちになさねばならないところがあるのです。皆さん、私たは決して先兆のこの私はある本でよみまして。女性の道令期とは三十五まで云々……私たちがまだまだ若く、再び訪れることす、再び訪れることすもの。もつともつと胸を張つて、みなさんような若さを発揮しようではありませんか。そうしてこそ、自然と学術にも執しめを感じ、自らと学術的な個性を作り、誰にも好かれ愛される人間になるのではないかと思います。

休養や、見学の日の利用して婦
 人学級を設け、又レクリエーション
 は、バレーの試合などしてたのしみ
 山奥の川内部落一上を見れば、山
 下を見れば土、何のたのしみもない
 聞くばかりと、アチこぼした女の口
 から、今日からは楽しみと希望の
 声で一杯です。



小長井綜合青年学級職業科生
 小長井宗治、坂下清吉

昭和33年度実施耕地災害事業一覽表 (昭33, 10, 1 現在)

箇所番号	地区名	上 種	事業量	事業費	工 期	備 考
38-1	川 内	頭水 水路	1ヶ所 152m 2ヶ所 1ヶ所 122m	776,000円	新工 昭33-5-3 ~ 9-8	済
3	久大	保保川上	1ヶ所 123.5m	218,000	5-7 ~ 5-31	済
4	大平	水 路	1ヶ所 192m	500,000	5-3 ~ 5-31	済
6	小 谷	牧 路	136m	624,000	7-4 ~ 8-10	済
12	小 谷	牧 路	174m	653,000	5-15 ~ 7-5	済
13	牧 路	牧 路	58m	364,000	5-8 ~ 7-5	済
14	牧 路	牧 路	174m	279,000	7-9 ~ 9-9	未
20	小川	頭水 水路	127.5m	467,000	4-19 ~ 6-10	未
22	小川	頭水 水路	1ヶ所 112,000	682,000	4-19 ~ 5-25	済
24	小川	水 路	6.6m	130,000	4-19 ~ 5-25	済
25	小川	水 路	37m	109,000	4-18 ~ 5-15	済
27	山 井	井 路	104m	238,000	5-15 ~ 7-20	済
25	山 井	井 路	47.4m	452,000		未
37	古 荒	荒 路	98.6m	3,820,000		未
101	荒 路	荒 路	17m	169,000	32-10-17 ~ 33-3-31	済
102	荒 路	荒 路	84m	539,000		未
109	荒 路	荒 路	212m	159,000		未
114	荒 路	荒 路	213m	533,000	33-5-15 ~ 7-5	済
118	荒 路	荒 路	49.5m	5,546,000		未
123	荒 路	荒 路	1ヶ所 84,000	638,000		未
117	荒 路	荒 路	185m	19,040,000		未
計					(未新工9ヶ所 施工済14ヶ所)	
38-235	地 新	農地保固	20.2反	1,638,000	5-3 ~ 7-11	済
38-215	地 新	牧 路	30.4反	626,000		未
38-220	地 新	牧 路	33.2反	1,601,000		未
38-218	地 新	牧 路	55.7反	1,785,000		未
計			137.5反	5,800,000		全体事業費は1,957,000
38-19	池 路	池 路	1ヶ所	230,000	2-17 ~ 3-15	済
38-20	池 路	池 路	114m	744,000		未
計				974,000		

公民館報と
 血めぐり
 菅野好助
 この間からどうも胸がむかつかつて仕
 様がない。たべるとすぐ胃がくちくち
 やり出す。その中にあるだういう位に
 考えて手養生をしてはいたが、十日たつ
 て一月たつても直らない。どうと
 うお医者のお世話になつた。
 「えらい胃が弱くなつてますね。こ
 のままとたんたん胃がこぼされて大
 な事になるころです。この路。
 「どうして胃が弱るのでしょうか。」
 「まあやつぱりたべすぎ、のみすぎ、
 吸いすぎ、それに年の加齢です。」
 サア大変だ。まだ死ぬのには一
 寸早い。
 「うしたら直るでしようか。」
 「どうですネ。タバコをやめて、
 いよいよ大変だ」と思う。
 「それから胃をやめて、益々世間くな
 る。」
 「先生、どうおめをたべて。」
 「胃を弱くするやないように、かいろ
 うお医者のお世話になつた。
 「そうすれば直りますか。」
 「長
 びかかると、かき抱かざるに
 していられたと段々直るでしようか。」
 「酒や煙草をやめることはよくわか
 りますが、どうして胃が弱るの
 ばなりませんか。」
 「要するに一切の
 病氣は血のめぐりが悪いことからおこ
 ります。胃をためたものと、そのと
 ろころが血のめぐりがよくなるのです
 よ。それで病氣がよくなるのです。」
 「ナルホド、おこつたつと人面
 が死ぬのです。」
 「どうです、どう
 ですか。」
 「さうか、さうか血のめぐりが、
 よしよし血のめぐりをよくしな
 と決心してお医者うちを出た。
 家の中も、字紙の中も、おいらの村
 の、血のめぐりをよくすること、
 村の血のめぐりをよくすること、
 公民館報から出来た。
 (農田下段へ)

Table with school names, grades, and schedules. Columns include school name, grade, subject, teacher, and dates.



婦人学級被服状況

牧師人も八月よりの再会、運びに至り、私の責任は重大なことを痛感致して居る次第です。

弘達の婦人学級

「はやくみつめて 火災の発生は一年を通じて、冬期が一番多く、冬期はゆるゆるの火災期といはれ、秋の季節に比べて著しく上昇しております。今年も又この火災期を迎えらるに当って、要する十一月二十日まで、一週間は全国火災予防週間として、この運動が実施されますので、皆さんの御力を頼みたいと思っております。

写真も熱心に撮影する。婦人学級

秋の全国火災 予防運動について

消防 保護

「はやくみつめて 火災の発生は一年を通じて、冬期が一番多く、冬期はゆるゆるの火災期といはれ、秋の季節に比べて著しく上昇しております。今年も又この火災期を迎えらるに当って、要する十一月二十日まで、一週間は全国火災予防週間として、この運動が実施されますので、皆さんの御力を頼みたいと思っております。

実施の要領
1. 火災の早期発見
2. 火災の早期発見
3. 火災の早期発見
4. 火災の早期発見

納税だより

完納で愛して誇れ我が村
昨年の納税は、おかげで、先年よりも早くお済みになりました。

昭和三十一年	七〇%
昭和三十二年	七二%
昭和三十三年	七四%
昭和三十四年	七六%
昭和三十五年	七八%
昭和三十六年	八〇%
昭和三十七年	八二%
昭和三十八年	八四%
昭和三十九年	八六%
昭和四十年	八八%
昭和四十一年	九〇%
昭和四十二年	九二%
昭和四十三年	九四%
昭和四十四年	九六%
昭和四十五年	九八%
昭和四十六年	一〇〇%

「役場だより」インフルエンザの予防について

衛生係

部 落 名	井 崎 一	井 崎 二	井 崎 三	井 崎 四	井 崎 五	井 崎 六	井 崎 七	井 崎 八	井 崎 九	井 崎 十	井 崎 十一	井 崎 十二	井 崎 十三	井 崎 十四	井 崎 十五	井 崎 十六	井 崎 十七	井 崎 十八	井 崎 十九	井 崎 二十
納税率	七二%	七三%	七四%	七五%	七六%	七七%	七八%	七九%	八〇%	八二%	八三%	八四%	八五%	八六%	八七%	八八%	八九%	九〇%	九二%	九三%

一毒物・劇物取扱者試験のお知らせ

本年度才1回筆記の試験が次の通り、実施されますので、お知らせします。

- ・試験日時 1.筆記試験 12月4日 2.実地試験 12月5日
- ・試験場 1.長崎試験所 2.豊前市水島町 3.豊前市水島町
- ・試験場 4.豊前市水島町 5.佐世保市保健所

出願手続・その他については、役場衛生係へお問い合わせ下さい。

編集 後記

長い間の懸念であった、私たちの館報も一九五八年もおしまつた。私も一月に、いよいよ孤々の声をあげることが出来ました。いろいろな困難をかかれましたが、御愛顧の御光、みなさん方の一層の御愛顧をお願い致します。

編集長 藤原 幸次郎

編集 後記

長い間の懸念であった、私たちの館報も一九五八年もおしまつた。私も一月に、いよいよ孤々の声をあげることが出来ました。いろいろな困難をかかれましたが、御愛顧の御光、みなさん方の一層の御愛顧をお願い致します。

編集長 藤原 幸次郎